

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成24年12月27日 (2012.12.27)

【公表番号】特表2012-515213(P2012-515213A)

【公表日】平成24年7月5日 (2012.7.5)

【年通号数】公開・登録公報2012-026

【出願番号】特願2011-546329(P2011-546329)

【国際特許分類】

A 6 1 K 35/26 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 39/00 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/436 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 35/26

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 39/00

A 6 1 K 37/02

A 6 1 P 35/00

A 6 1 K 31/436

【手続補正書】

【提出日】平成24年11月9日 (2012.11.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

C D 8 + T 細胞の個体群及び哺乳類ラパマイシン標的タンパク質 ( m T O R ) 阻害剤を含む組成物。

【請求項 2】

前記 C D 8 + T 細胞が前記組成物の細胞中に少なくとも 1 0 % 含まれる、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

前記 C D 8 + T 細胞が特異的で、かつ、個体において免疫応答の増強が所望される抗原をさらに含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 4】

さらにインターロイキン 1 2 ( I L - 1 2 ) を含む、請求項 3 に記載の組成物。

【請求項 5】

抗原が腫瘍抗原である、請求項 3 に記載の組成物。

【請求項 6】

個体において、抗原に対する増強された免疫応答を得るための組み合わせであって、前記抗原及び哺乳類ラパマイシン標的タンパク質 ( m T O R ) 阻害剤を含み、前記個体に前記抗原及び哺乳類ラパマイシン標的タンパク質 ( m T O R ) 阻害剤が投与される、組み合わせ。

【請求項 7】

前記組み合わせががんワクチン療法に用いられる組み合わせであり、前記個体が、がんを有すると診断されもしくは疑われており、前記がんが前記抗原を発現しているがん細胞を含む、請求項 6 に記載の組み合わせ。

【請求項 8】

個体において、前記抗原の投与に続いて前記 m T O R 阻害剤が投与される、請求項 6 又は 7 に記載の組み合わせ。

【請求項 9】

少なくとも 7 日間、少なくとも 1 日 1 回、m T O R 阻害剤が個体に投与される、請求項 8 に記載の組み合わせ。

【請求項 10】

継続して 20 日間を超えない期間、m T O R 阻害剤が個体に投与される、請求項 8 に記載の組み合わせ。

【請求項 11】

m T O R 阻害剤が、ラパマイシン又はテムシロリムスである、請求項 6 に記載の組み合わせ。

【請求項 12】

さらに、前記抗原に特異的な C D 8 + T 細胞を含む組成物を含み、個体において、前記抗原に特異的な C D 8 + T 細胞を含む組成物を投与することを含む、請求項 6 に記載の組み合わせ。

【請求項 13】

個体に C D 8 + T 細胞を投与する以前に、前記抗原が C D 8 + T 細胞に提示されている、請求項 12 に記載の組み合わせ。

【請求項 14】

個体に C D 8 + T 細胞を投与する以前に、C D 8 + T 細胞が m T O R 阻害剤と接触させられている、請求項 13 に記載の組み合わせ。

【請求項 15】

個体に C D 8 + T 細胞を含む前記組成物を投与する以前に、個体から C D 8 + T 細胞が単離されている、請求項 12 に記載の組み合わせ。